



題字揮毫 2年5組16番 城間 聖子 2年5組6番 近江谷 渚

舞台プログラム 場所:体育館

順	団体名	演 目	開始時刻
1	吹奏楽部	Kyuyo wind Orchestra's Festival Fever	10:00
2	1年B組	ブラック企業をホワイトニング	10:30
3	1年A組	球陽太郎	11:00
4	2年A組	「シン・デレラ」	11:30
5	3年A組	告白大作戦	12:00
6	2年7組	今日好きになりましたー球陽編ー	12:30
7	演劇同好会	わかりあいたい！	13:00
8	ダンス部	Breese in SiestA!	13:30
9	軽音楽部	ROCK IN QYO FESTIVAL 2025	14:00

秀才★喝采★球陽祭

アオハル

～青春したらだめですか？～

テーマに込めた思い

個性豊かな秀才たちが集まる球陽高校。いつも課題やテストに追われ忙しい日々を過ごしていますが、球陽祭では全力で青春を謳歌し、拍手喝采を浴びるような楽しいイベントにしようという思いを込めました。

実行委員長挨拶

本日は球陽祭にお越しいただきありがとうございます。
今年のテーマは「秀才★喝采★球陽祭 ～青春(アオハル)したらダメですか？～」です。普段は勉強に追われて忙しい球陽生ですが、短い準備期間の間、クラスや部活生が一丸となって一人一人が協力し、それぞれの企画を作りあげました。今日は「球陽生らしさ」の溢れる球陽祭を皆さんもぜひ楽しんでいただけると嬉しいです！

高校3年5組18番 勢理客 美羽



デザインイメージ 高校3年5組11番 喜屋武 夢奈

「青春」をイメージさせる爽やかな水色をメインカラーにし、スカートには青空の模様を取り入れました。また、テーマに入っている「喝采」から、活気と明るさ、賑やかさをイメージし、オレンジ色を組み合わせています。真ん中の女の子は、眩しさを感じさせるように、光の表現をこだわりました。また、文化祭はみんなで創り上げるものなので、手を差し伸べている構図にしました。

生徒会長挨拶

会場にお越しの皆さん、ようこそ球陽祭へ！
私たち球陽生は約1ヶ月半の間、この日のために準備を重ねてきました。どのクラスも企画を1から考え、試行錯誤を重ね、個性あふれる催し物が揃っています。時間や予算など限られた中で、みんなで協力しアイディアを出し合い、工夫を凝らして作り上げた力作です。是非私たちの集大成を見て・食べて・体験して、全力で楽しんでください！

高校3年4組23番 富山 大正

本日は球陽祭にご来場いただき、ありがとうございます。球陽祭では、球陽生持ち前の知性と探求心をいかして刺激的な企画をたくさん用意しています。また、中学生ならではの発想力が光るユニークな催しもご用意しています。ぜひ、中学棟・高校棟・体育館すべてに足を運び、楽しい時間をお過ごしください。

中学3年A組16番 下地 凜



デザインイメージ 高校3年1組39番 山根 安樹

ポスター＝イラストと言う印象があったのですが、何か別のことをしてみたいと思い、友達に協力してもらって写真も使用することにしました。文化祭と聞いて焼きそばが思い浮かんだのと、わちゃわちゃした楽しそうな雰囲気にしようとしたところ、こんな感じのポスターになりました。

校長挨拶

広辞苑で「文化」を検索すると「文化は民族や社会の風習・伝統・思考方法・価値観などの総称で、世代を通して伝承されていくものを意味する」とある。その言葉を学校文化に置き換えた場合、「球陽高校で行われてきた慣習や伝統そして生徒・教職員が一体となって創り上げてきた考え方や価値観のこと」と言える。そして、その行為は、球陽高校で連綿と繋がる個人・学級・学年集団や学校全体で受け継がれていかなければならないものとなる。本校の伝統や価値観とは何だろうと改めて深く考えてみた。堂々巡りでなかなか回答に窮してしまった感がある。ただ、文化の持つ本質的価値の良いところは、豊かな人間性を涵養し、創造力と感性を育む等、人間が人間らしく生きるための糧となるものであること。また、国際化が進展する中において、個人の自己認識の基点となり、伝統を尊重する心を育てるものであると考えられる。そして、文化は、他者と共感し合う心を通じて意思疎通を密なものとし、人間相互の理解を促進する等、個々人が共に生きる地域社会の基盤を形成するものであるとも言える。

令和7年度ならびに第16回球陽祭のスローガンは「秀才★喝采★球陽祭～青春(アオハル)したらだめですか？～」に決定した。個性豊かな秀才たちが集まる球陽高校。いつもは課題やテストに追われ忙しい日々を送っているが球陽祭では全力で青春を謳歌し、拍手喝采を浴びるような楽しいイベントにしようという思いを込めたそう。球陽祭で創り上げる関係性や育まれていく人間性は一生の宝物である。クラスメイトや学年団そして学校全体で得た達成感や成気感は何物にも代えがたい財産である。君達一人ひとりが創り上げる球陽祭に大きな期待をしていると同時に、球陽高校が創り上げる文化とはどのようなものになるのかをこの眼で確かめてみたいと思う。楽しみでワクワクしている。

令和7年6月7日 校長 田名 裕治